



継続と改革

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南
 住 所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 黒岩久登

ロータリー財団月間

第 3353 回例会	No.16	2023. 11. 01	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分	「君が代」	「奉仕の理想」
ロータリーの目的	斉藤篤史 君		
例 会 行 事	結婚・誕生者卓話		

会長時間

団地や新旧の戸建住宅が立ち並ぶ福岡市城南区の路地に、一軒の駄菓子屋がある。約1年9か月前にオープンした店は白い内装で、安価な菓子や玩具が整然と並び、訪れた子供たちの笑い声が響く。店内の楽しそうな様子を見上げるように、頬づえをつき、微笑む少女の写真が飾られている。2018年8月に急性リンパ性白血病で7歳の命を閉じた添田千歳さん。その名前を付けた「ハンドメイドとだがしの家 ちとせや」を母の友子さん(46)が開いたのは、千歳さんが最後まで諦めなかったある思いを継ぐためだ。

千歳さんの人生は、再発を繰り返す小児がんと闘いでもあった。3歳だった14年2月、高熱で病院を受診したところ血液検査で異常を指摘され、大学病院で急性リンパ性白血病と診断された。約2年半に及んだ入院・通院治療の結果、16年8月に白血病細胞は確認できなくなり、治療を終えた。

2017年4月に小学校に入ると、多くの友達ができた。校庭で一輪車に乗ったり、校内を歩き回る「探検ごっこ」のリーダー的存在になったりと、楽しい学校生活を送った。しかし平穏な日々は長くは続かなかった。入学から約4か月たった17年8月に再発が判明。通常の抗がん剤治療では回復が見込めず、健康な血液を作るために「へその緒」などに含まれる臍帯血を移植する手術を18年3月に受けた。

手術後、千歳さんは通院先の病院で、あるポスターを見つけた。この年の7月29日にJR博多駅前で開催される「レモネードスタンド」の告知だった。レモネードスタンドと呼ばれる活動は、小児がんの一種「神経芽腫」を患った米国の少女、アレックス・スコットさんが00年、小児がんの治療研究資金を集めようと、レモネードを一杯50セントで自宅の庭で売り始めたのがきっかけだ。04年6月12日には全米50州で一斉に開催。約2か月後にアレックスさんは8歳で亡くなったが、6月12日は「アレックスのレモネードスタンドデー」とされ、取り組みは世界各地に広まった。日本でも年間約2000人が小児がんを発症し、小さな体で病と闘う。

レモネードスタンドは00年代後半から日本でも催されるようになり、患者支援の代表的な取り組みになっている。千歳さんは17年にも博多駅前に参加したことがあった。18年の手帳の「7月29日」に「レモネードスタンド」と書き、その日が来るのを心待ちにした。だがその前に待ち受けていたのは白血病の再々発だった。移植から3か月がたった18年6月の検診で明らかになった。打つべき手はもうなかった。医師は友子さんに余命を告げた。「千歳さんが大きくなる姿は見られません。持って初夏です。好きなことをして過ごしたらどうですか」千歳さんはその日から通院や短期入院を繰り返し、微量の抗がん剤と痛み止めのモルヒネ、輸血で命をつないだ。

迎えた18年7月29日の朝、千歳さんは発熱した。参加を決めていたレモネードスタンドの日。友子さんは諦めるよう何度も説得したが、千歳さんはかたくなに「行く」と訴えた。「私は病気の子の気持ちがわかるから、少しでも役に立ちたい。」輸血を受け、医師の許可を得て、家族4人で会場に向かった。この日の福岡市内は、東から西へ異例の進路をたどる「逆走台風」の接近で灰色の雲が空を覆い、時折激しい雨が地面を打った。「レモネードはいかがですか」「募金お願いします」「小児がんの子供たちのために使われます。」抗がん剤治療で髪が抜けた千歳さんは麦藁帽をかぶり、雨音に消えないようにと声を振り絞った。道行く人が足を止め、千歳さんが抱えた募金箱に浄財を入れてくれた。千歳さんはこの日のことを絵日記に描いた。自信と姉の夏妃さん(16)が並んで立った絵、そして「レモネードスタンドのお手伝いしたよ」と記

した。

その八日後、容体が急変し、酸素濃度が著しく低下した。医師が友子さんと父の晃さん（47）に切り出した。「もう1週間も持ちません」友子さんは涙が止まらなかった。「苦しい治療に耐えてきたのに何で・・・」病室に戻ると千歳さんは「ママ、なんで泣いとー」といって笑った。だが段々と口数は減り、やがて声を発さなくなった。「ありがとう」「ごめんね」。命が消えかけた娘の小さな体を抱いて語りかけた。夏妃さんを連れて晃さんが病室に戻るまでの間、「目を閉じたらだめ。まだ逝かないで」と何度も揺さぶった。二人が病室に現れると、千歳さんは笑いかけるように右の口角を少し上げた。そして、右目から一筋の涙を流した。8月6日夜、7歳10か月で亡くなった。

小学校教員を辞めて付きっきりで看病してきた娘が遠くへと旅立ち、友子さんの心には穴が開いたような喪失感が残った。「同じ病で苦しむ子供たちの役に立ちたい」。それが愛娘の「遺志」だったと気づくには時間が必要だった。

幹事報告

1. 地区事務所より、ハワイ州マウイ島山火事への支援金に対する支援金額及びお礼の文書が届いております。
2. 国際ロータリー日本事務局財団室より「財団室 NSWS 11月号」が届いております。

委員会報告

竹井崇利君 地区職業奉仕委員会を報告します。10月28日に研修会を開催しました。

まず、各クラブの職業奉仕委員会活動事例をまとめました。

詳細は地区ホームページのドロップBOXをご覧ください。（パスワード q 8D2 c Uwb）

講演は大迫三郎パストガバナー（2013年～2014年ガバナー）です。

職業奉仕とは何か？解りやすい説明でした。印象に残った言葉を紹介いたします。

「ロータリアンは仕事をして、利益の中から会費を払い事業に参画している。立派な職業奉仕である。」これからも会社は利益を出し、社会に貢献していきたいと思えました。

ご参加頂き誠にありがとうございます。

親睦委員会 結婚 土屋昭次（1972）井野畑善順君（1979）花盛和也君（1985）築瀬 敦君（1994）
峰松俊夫君（1994）中山智司君（1995）西島元利君（2014）

誕生 鬼束忠男君（1950）日高章太郎君（1952）古澤昌子君（1966）村社浩二君（1969）
黒武者和浩君（1974）西島元利君（1979）

例会行事

結婚・誕生者卓話

黒武者和浩君（誕生）



皆さんこんにちは。今日は誕生日のお祝いありがとうございます。今月で49歳になります。50歳の台まであと1年となってしまいました。

鹿児島銀行は50歳が役職定年なので、若い頃は50歳位の上司をリタイヤ前のおじさんだと思っていましたが、いざ自分がそのくらいの歳になってみると、自分はまだまだ若いのではないかと思ったりもしますが、そういうことを考える時点で既に若く

ないのでとも思っております

40を「不惑の歳」と言うのは、皆さんも耳にしたことがあると思いますが、50歳は何か他の言い方は無いのか調べてみました、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、チメイの歳と言うそうです。これは中国の孔子の言葉を綴った論語に由来しているそうです。

原文は、子曰く、我15にして学に志す、30にして立つ、40にして惑わず、50にして天命を知る、60にして耳従う、70にして心の欲するところに従いてノリを越えず、と言うものです。

現代語に訳せば、私は15歳で学問を志し、30歳で学問の基礎ができて自立できた、40歳で物の道理がわかって自分の生き方に迷いがなくなった、50歳には天から与えられた自分の使命、生きる意味を悟り何をすべきか理解するようになった。60歳で人の言葉に素直に耳を傾けることができるようになり、70歳で思うままに行動しても人の道から外れるような事はなくなったと解されるそうです。孔子が晩年に自分の生涯を弟子達に語った言葉だそうです。ここから15歳を志学の歳、30歳を而立の歳、40歳が不惑の歳、50歳が知名の歳、60歳を耳順の歳、70歳を従心の歳と言うそうです。

自分自身を振り返ると、迷い続けた40代だったなあと思います。学生時代に授業でこの文章を聞いたときに、人はそれぞれの年齢になれば、自ずとそのような資質が備わってくるものだと勝手に解釈しておりましたがそうではなく、孔子が人生を振り返って、常に自己研鑽を続けながら苦勞を重ね人間形成を図り、ようやくたどり着いた境地だと言うことを知り、ちょっと恥ずかしく思いました。

この49年間漫然と過ごしてきた過去はもう変えることができませんが、今は人生100年時代と言われることを考えると、ようやく折り返し地点にたどり着いた状況ですので、今年1年間は知名の歳を迎えるにあたって、天から与えられた自分の使命、生きる意味を悟れるとはとても思えませんが、私なりに良い後半の人生のスタートが切れる準備期間として少しでも自己研鑽に励みたいと思います。

話は変わりますが、先日人間ドックの再検査を受けました。鹿児島銀行では35歳になるとありがたいことに毎年人間ドックを受けさせてもらいます。30代では再検査はなかったのですが、不惑の40歳を迎えてからは体にも迷いがあるのか、毎年のように何かしらのご指摘をいただくようになりました。

最初は42歳のときのメタボ指導でした。身長は175センチですが、当時体重は75キロを超えており、検診前から今年はやばいなあと思いダイエットを始めました。ダイエットの効果は検診には間に合わなかったもので、予想通り保健師さんの健康指導を受けることになりました。検診から2ヶ月ほど経った頃、保健師さんが職場に来て食事の改善や生活習慣の見直し、目標体重の設定等厳しく指導され、目標体重を65キロと決められました。ところがダイエットの効果は既に出ており、体重は64キロになっておりましたので保健師さんに、ではあと1キロは太っても大丈夫ですねと返すとさらに厳しい口調で指導いただきました。それから7年ほど経ちますが、体重は増減を繰り返しちょっとずつ増加基調で推移しております。

その後も血圧や尿酸値などで再検査を受け、投薬も受けるようになりました。また、今年の間ドックで初めて内臓系の再検査を指摘され、先日人生初の大腸カメラを経験しました。幸い大事には至っていないようなので一安心したところです。仕事の都合で単身赴任が続いており食生活、アルコール生活がかなり自由になっていますので、致し方ない面もありますが、健康面にも少しは気を使いながら、日南での生活を楽しまたいと思います。

花盛和也君（結婚）



昭和60年11月23日に結婚しましたので、今年で38年目となります。まだ教員採用試験に合格しておらず、合格目指して講師として働いていたのですが、妻の父親から生活のバックアップはするから一応式だけは挙げておこうと急かされ、将来の見通しもないまま結婚しました。新婚旅行については、将来、正式採用になってからと考えていましたが、いざ採用になるとソフトボール部の顧問を任せられ、土日の休みがない生活が始まり、また、子ども3人の子育てにも追われ、あっという間に30年が過ぎました。

教員生活最後の年に退職したら新婚旅行を兼ねてどこか旅行に行こうと妻と話し合っていたのですが、退職と同時にコロナ禍が始まり、結局旅行どころではなくなりました。

コロナ禍もやや落ち着きを見せ始め、退職して4年目を迎えた今年の7月末に、やっと2泊3日の北海道旅行を実現することができました。ツアー参加者を見てみると私たち夫婦が最年少ではないかと思うくらい、多くの年配者が参加されていました。今までは「旅行のために仕事を休む」ことにやや罪悪感を持っていましたが、今回の旅行を通して、体が元気なうちにやりたいことをやった方が良いと気付かされました。

そこで、さっそく9月の3連休には、ハウステンボスの花火大会を見に行きました。先週の土曜日は石山観音池の焼肉カーニバルに行ってきました（毎年参加しています…）。

次の計画はまだ立っていませんが、シンガポールに行きたいという妻のため、まずは切れてしまったパスポートの再発行をしなければと思っているところです。残りの人生を悔いなく充実できるよう頑張っていこうと思っている今日この頃です。

井野畑善順君（結婚）



11月7日で44年目の結婚記念日となります。

御多分にもれず、私たち夫婦も紆余曲折が沢山ありました。でも、何とか今まで続く事が出来ました。ある方が、結婚は修行の場だと言われた事が有ります。正にそうかも知れません。

でも、ひょっとしたら私は修行の一定の時期をクリア出来たのかも知れません。おそろく悟りを開いたのではないかと、自分自身で最近思っています。

若い頃は、妻に求めるものが色々あり過ぎてトラブルも多かったと思います。以前は「妻にあれをしてくれ！何故これが出来ないのか！」と結構文句を言っていました。悟りを開いてからは、妻に文句を言わず自分で出来る事は自分でやれば良いじゃないか！と思えるようになったのです。

如何ですか？夫婦間でご不満をお持ちの方も、そういう風に思って過ごしてみても如何でしょうか？

近年、私は妻に随分と感謝をするように成りました。というのも、別棟では有りますが、同じ敷地内に母が住んで居ます。実は8年程前から認知症の症状が出てきました。発症から8年と年数の割には進行が遅い方だとは思いますが、現在要介護2です。新しい情報は殆ど記憶に残りません。

一般的には、この様な場合、家族内で結構トラブルが出てくると思うのですが、夫婦ともに認知症である現状の母の状況を理解した上で、毎日明るく対応出来ていると思います。私は息子なので当然な事も知れませんが、妻もそれを共有して対応してくれています。それは本当に有難い事と思っています。母の行動を確認する為に見守りカメラが設置しているのですが、インターネットを使いスマホで時々見えています。ご飯の時は、妻が「お母さんはご飯が有ったかな？おかずは残っているかな？何か持って行こうか？」と何時も気にして対応してくれています。

こんな妻の暖かい心に感謝して、7日の結婚記念日には、今年も松本花屋の籠花を贈りたいと思っています。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今 週	30	8 (5)	25	19	0	6	19	76.00%
出席免除	落丸、清水、土屋、古澤、渡邊							
先取MU								
欠 席	榎木田、齋藤(奈々)、中山、西島、日高、村社							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：黒岩久登 副会長：築瀬 敦 幹事：井野畑善順 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。